

グループホーム太陽の家 地域連携推進会議議事録

日時

日時：令和7年11月15日（土） 13：00～14：30

場所：グループホーム太陽の家食堂

参加者：利用者2名、利用者家族2名、南魚沼警察署駐在、越南会第三者委員2名、
市役所福祉課職員、五日町病院相談員、太陽の家職員3名 計12名

地域連携推進会議について - サービス管理責任者より挨拶

障害者総合支援法に基づき令和7年度より1年に1回の開催が義務付けられたことと、会議の目的（①利用者と地域との関係づくり ②地域住民による利用者への理解促進 ③事業所やサービスの情報提供 ④利用者への啓蒙）について説明。

※留意点の共有

利用者の個人情報に触れる内容があるため、今回の会議で知り得た個人情報は外部に話さない。会議の内容について議事録を作成し、ホームページに公開する。議事録作成のため、ボイスレコーダーで録音を行う。記録のため、全体写真を撮影する。

施設紹介 - 利用者と職員より

今回の会議では「太陽の家」についてを知ってもらうことをテーマとする。スライドは参加者に配布せず、テレビに映しながら紹介した。

- ・グループホーム太陽の家が平成31年4月に運営を開始した経緯、利用者の障がい種別や年齢層、1日のスケジュール、職員の人数や資格、支援の内容（日常生活支援・相談支援・服薬指導・金銭指導・食事の提供）についてを説明。休日の様子や施設行事の様子は、利用者の顔を隠した写真を使用した。

- ・施設内見学と、会場に利用者2名の作品を展示。質の高さが評価されるとともに、和やかな雰囲気では会を進行することができた。

課題の共有

利用者から：

物価高による生活費のやりくりに対しての不安や、グループホーム退所後の行き先についての不安の声が聞かれた。福祉課職員より、利用者の年齢や状況の変化に応じて、サービスを

柔軟に移行できる体制が整っていることの説明あり。年齢によるサービスの変更（介護保険への移行）については、余裕を持って事前相談を促す。

家族・地域の方から：

施設内のみの行事開催に留まらず、地域住民と交流する目的での行事の開催の提案あり。また、利用できない空室があることにもったいないとの声が聞かれた。（太陽の家が宿泊型自立訓練施設だった名残で部屋数があるが、職員の人員不足で空室のままとされている。）法人と相談していく旨を伝えた。

その他

太陽の家が共同生活援助だけでなく短期入所も利用できる施設であることを情報共有した。管理栄養士の指導により職員の手作りの食事を提供していることについて。利用者からも満足度が高く、家族と地域の方からの評価も高かった。

来年度以降の開催についても共有し、14：30 に終了した。

